

葉の表面に小さな緑色の花を咲かせるハナイカダ―浜松市南区の市緑化推進センター―



は ひょうめん
葉の表面に花 ハナイカダ見頃 南区

葉の表面に咲く小さな花が筏（いかだ）に乗った人のように見えることから名が付いたとされる「ハナイカダ」が浜松市南区の市緑化推進センター「みどりな」で見頃を迎えている。
ハナイカダは北海道南部から九州までの森林などに自生するミズキ科の落葉低木。同センターには管理棟東側に5株が植えられ、約5〜12センチの葉の上に2、3ミリのほどの愛らしい緑色の花を咲かせている。今月末ぐらいまで楽しめそうという。

①写真の中のハナイカダの花に○を付けましょう。

2017年4月18日 朝刊

②ハナイカダの名前の由来を書きましょう。

[

]

③「こんな花があったらいいな」と思う絵を描きましょう。

年 組 名前

(小学校中学年以上 理科・総合)